

畜舎建設と堆肥製造機械を二本柱に 循環型社会の形成に貢献

アイケイ商事株式会社

千葉県は、酪農、養豚、養鶏といった畜産業が盛んだ。近年は近代化・大型化が進む中、畜産農家を建物や機械・設備、物流など多方面から支えているのがアイケイ商事(株)だ。現在は畜舎建設と堆肥製造機械を事業の両輪に、畜産廃棄物の有効利用と環境改善に取り組み、循環型社会形成の一翼を担っている。

スタートは養豚業 畜産関連事業を幅広く展開

千葉県は全国有数の畜産県だ。家畜飼養頭羽数の全国順位は、乳用牛が6位、肉用牛が19位、豚が5位、採卵鶏(成鶏メス羽数)が2位である(農林水産省「畜産統計調査」2021年)。それぞれの飼養農家の戸数は年々減少しているが、1戸当たりの頭羽数は増えている。その主な理由は、小規模畜産農家の廃業が進み、大規模畜産農家への集約や経営の大規模化が起きていると考えられる。

大型化する農場には、新たな大型畜舎の建設が必要になる。牛や豚や鶏を健康に育てるための建物と、その排泄物を適切に

処理する施設・設備が整えられなければならない。香取市に本社を構えるアイケイ商事(株)は、そうした特殊な分野の建設ノウハウを、30年以上にわたる畜産関連事業を通じて蓄積してきた。

同社の母体となったのは、現在は会長職にある小林勇氏が1981(昭和56)年に始めた養豚業である。着実に頭数を増やしながら、畜舎の建設、畜産設備機器のメンテナンス、飼料運搬など、畜産に関わる業務を幅広く手がけるようになった。

8年後の1989(平成元)年に畜産機械及び飼料販売業務を分離して同社を設立。以降、一般貨物自動車運送事業、一般建設業、産業廃棄物収集運搬業、特定建設業など各種の許可を



家畜の排泄物を液体と固形に分ける固液分離機「Wコンベアー」

取得し、「畜産のトータルコーディネート」を掲げるまでに業容を拡大した。

2016(平成28)年に小林会長から経営を託され、2代目社長に就任した坂本真吾代表取締役社長は、「畜産農家にとって、牛や豚を育てるための畜舎には、強い思い入れがあります。例えば牛が餌を食べる時の、牛の首の高さに合わせた餌箱の位置にもこだわります。畜舎は1棟1棟が全て異なるオーダーメイドです。だから長年のノウハウ蓄積が強みになり、大手建設会社も参入しにくいのです」と語る。同社が



坂本真吾社長

高品質な堆肥の製造で 化学肥料の使用を低減

液分離機及び自動堆肥攪拌機)が、投資促進税制の対象機械として認められた。

「今、化学肥料が外国から入りにくくなった事情もあり、代わりに堆肥を使ってもらおうという動きが進んでいます。耕種農家さんに堆肥で草花や作物を育ててもらい、それをまた牛や豚が食べる。それも、一つの循環型社会の形です」と坂本社長。畜産農家にとって、排泄物の始末や近隣への悩み対策は、避けては通れない悩みの種である。「そうした問題を常に意識していた会長が、対策としてさまざまな機



牛が自由に動き回れるスペースを持つ「フリーストール」型の牛舎の施工例

自動堆肥攪拌機は、固形分におが粉などの副資材を加えてかき混ぜ、良質な堆肥を作る機械。堆肥は発酵する際に60度から80度程度の熱を発生し、水分と共においも飛んで、扱いやすい粒状の肥料となる。

こうした機械の製造は、自社保有の鉄工所で行うため、開発から製造、販売までの一貫体制が確立されている。「農水省の事業計画認定を機に、全国の畜産農家へアイケイの機械が行き渡るようにしたい。建設事業は関東一円が中心になります。機

「畜産農家は意外と狭いカテゴリーで、隣で畜舎を建てると、うちも、うちもと紹介が続いてい

顧客の困り事に迅速に対応 紹介が紹介を呼び安定受注

地元で生まれ育った坂本社長は、長年勤めた銀行を定年前に退職し、畜産の世界に飛び込んだ異色の経歴の持ち主だ。牛や豚の飼養から、畜舎建設、機械設備まで、知識も経験もないまま1から学び、義父である小林会長の姿を間近に見ながら仕事を覚えていった。中小企業の経営の厳しさは、銀行員時代に何度も見聞きしていたが、幸いなことに同社は順調な推移を続けていた。

「畜産農家は意外と狭いカテゴリーで、隣で畜舎を建てると、うちも、うちもと紹介が続いてい

くことはよくあります。また、飼料会社の人々が農家を回った先で、設備増築の相談などを受けた時に、当社にないでくださいというケースもあります。そうやってオーダーが途切れなく入ってくるというのは、本当にありがたいことです」

会社概要

設立 1989(平成元)年
代表者 坂本真吾
所在地 香取市虫幡942
資本金 3000万円
従業員数 28人
事業内容 畜舎・堆肥舎の建設、固液分離機の製作・販売、攪拌機の販売等
千葉銀行取引店 小見川支店



固液分離機によって分けられた固形分に副資材を加えて堆肥を作る自動攪拌機「ファームクリーン」